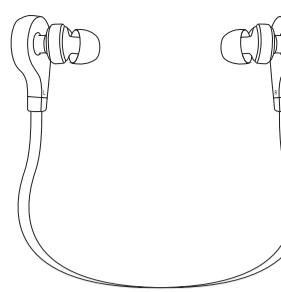


取扱説明書

**Bluetooth
ワイヤレススポーツイヤホン**
型番：HP-W150N
品番：03-1021

このたびは、AudioComm®Bluetoothワイヤレススポーツイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただるために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。



03-1021A

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりかけをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。)

危険

接触禁止 充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれたときは、素手で触らない
●本機には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されています。万一液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
●万一液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけの症状があるときは医師に相談してください。

⚠ 警告			
	運転中は本機及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聴こえない危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本機を使わない ●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。		禁止
	航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。		接觸禁止
	心臓ペースメーカーを使っているときは装着部から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。		禁止
	付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。		禁止
	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。		使用禁止
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。		禁止
	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。		禁止

⚠ 注意			
	シャワーや水を直接かけない。水中につかない ●本機の防水保護等級は防まつ形です。完全な防水仕様ではありません。		禁止
	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のある場所に置かない ●破損・故障の原因となります。		禁止
	振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。		禁止
	本機をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。		禁止
	小さなお子様の手の届かないところに保管する ●誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。		音量は小さく 保管場所に注意
	ズボンなどの後ろポケットに本機を入れたり、カバンの中に入れたままにしない ●気づかず椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして変形や破損、故障の原因となることがあります。		禁止

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとにに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

*Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

[対応バージョン] Bluetooth標準規格 Ver.4.0

[対応プロファイル]

- HSP(通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

主な仕様

電源	DC5V(USB給電 : microUSB入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 70mAh)
形式	ダイナミック型
実用最大出力	3mW+3mW
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.0
対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP, AVRCP
変調方式／周波数帯域	FHSS / 2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
最大登録可能台数	8台
マルチポイント(同時待ち受け)	最大2台
再生周波数帯域	20Hz~20kHz(A2DP)
マイク指向特性／感度	全指向性 / -42dB
防水保護等級	IPX4(JIS C0920-2003 : 水の飛まつに対して保護する)
充電時間	約1.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約4時間(70%音量)
通話可能時間	約5時間(80%音量)
待受可能時間	約240時間
許容動作温度／湿度	温度：0~40°C 濡度：20~80%(ただし結露なしにて)
外形寸法	イヤホン単体：幅27×高さ29×奥行22mm 全長(イヤホンを含む)：約59cm
質量	約15.5g
付属品	専用充電コード、イヤーチップ(S,M,L)、USBポートカバー(3個)、保証書、取扱説明書

*充電時間、音楽再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間、最大通信距離はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

●仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※取扱説明書のイラストが実際の製品と一部異なる場合があります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはいたりする行為は、法律により罰せられることがあります。本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

防水保護等級について

本機はJIS C0920:2003(IEC 60529:2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX4」(水の飛まつに対して保護する)仕様となります。本機は小雨の野外、水の飛まつがかかる場所でご使用いただけますが、以下の点に十分ご注意ください。

- 水がかかる場所や湿気の多い場所で使用するときは、必ず充電用USBポートのカバーをしっかりと閉めてください。
- シャワーやお湯を直接かけたり、水中につけないでください(完全防水設計ではありません)。
- 石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が侵入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かさないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

お手入れのしかた

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはがれることができます。

※必ず電源を切ってから行なってください。

●イヤホン本体

●専用充電コード

●USBポートカバー(3個)

●保証書

●イヤーチップ(S,M,L)

●S,M,L

※Mは本体に装着済み

●取扱説明書(本書)

●本製品の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合

●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損

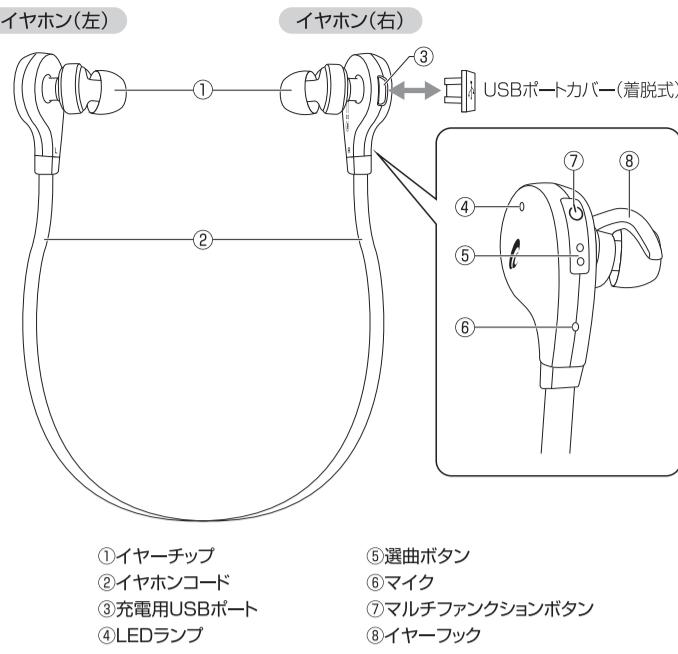
●本製品のために費やした時間及び経費

●本製品を運用した結果もたらされた損害

●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失

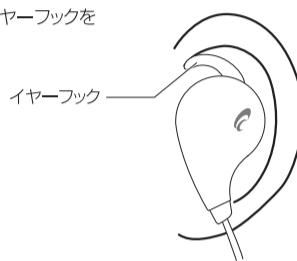
●本製品

各部の名称



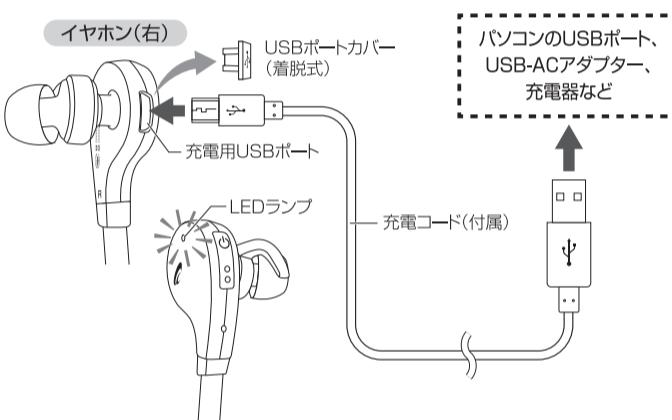
イヤホンの装着方法

イヤーチップの部分を耳穴に入れたあと、イヤーフックを耳のくぼみに入れてください。



充電のしかた

イヤホン(右)にある充電用USBポートのカバーを外し、充電コード(付属)でパソコンのUSBポートなどと接続します。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると青色に変わります。



ヒントとご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本製品を使用できません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機を充電するには電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 残量ゼロからフル充電までは約2時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度：0°C～40°C、湿度：20～80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していないくともLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると、「battery low」と音声が流れ、LEDランプが赤く点滅します。その後しばらくすると電源が切れますので、直ちに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充電放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。

電源のオン／オフ

電源オン マルチファンクションボタンを2秒間長押しすると電源が入ります。はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参考して操作してください。



電源オフ 電源が入っているときにマルチファンクションボタンを4秒間長押しすると電源が切れます。



ペアリング(初期登録)のしかた

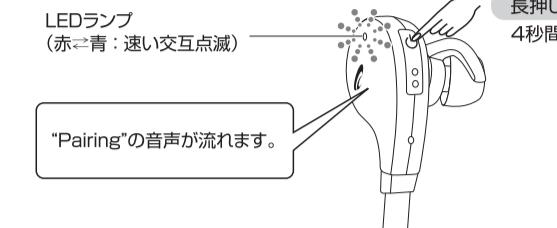
ペアリングとは、本機をイヤホンとして使用する相手側のBluetooth機器(携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に本機を初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- ① 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
- 相手側のBluetooth機器は電源が入った状態でかまいません。

- ② マルチファンクションボタンを4秒間長押しします。

本機の電源が入り、そのまま押し続けるとペアリングモード(Bluetooth機器を探している状態)になります。ペアリングモードでは青色と赤色のLEDランプが交互に速く点滅します。



- ③ Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

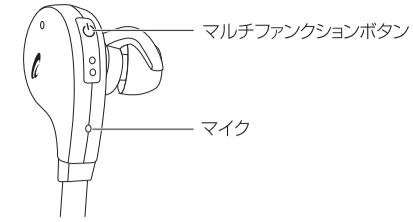
SoftBank : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

Windows Mobile : [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

携帯電話の操作



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
保留にする	通話中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す。 通話に戻るときも2回続けて押す
リダイヤル	待ち受け中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す

ヒントとご注意

- 通話時はマイク部を指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
- 着信があると英語で相手の電話番号が読み上げられます。
- リダイヤルについて：リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機スピーカーを選択してください。
- 着信音について：携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聞こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音が输出される場合などがあります。
- iPhoneをお使いの場合の付加機能(2017年3月現在)
iPhoneと本機を接続してお使いの場合は、マルチファンクションボタンを2秒間長押しすると、Siriを呼び出すことができます(通話中を除く)。Siriを終了するときはマルチファンクションボタンを1回押してください。

マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話を待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

1台目	本機	2台目
① 1台目の携帯電話とペアリングし、接続した状態にします。		
② ステップ①の携帯電話のBluetooth機能をOFFにします。その後、本機の電源も切ります。		
③ 2台目のBluetooth機能をONにした後、本機のマルチファンクションボタンを8秒間長押ししてペアリングモードにし、2台目とBluetooth接続します。		
④ 本機の電源を切り、2台目の携帯電話のBluetooth機能もOFFにします。		
⑤ 1台目→2台目の順で携帯電話のBluetooth機能をONにし、最後に本機の電源を入れます。		

ヒントとご注意

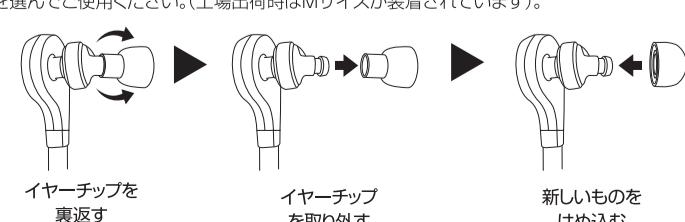
- いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合：マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 2台とも着信があり、呼び出し中の場合：マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかる電話とつながります。
- 通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合：
 - マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になります。その後からかかる電話に出ることができます。
 - もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかる電話を保留し、元の電話(最初にかかる電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができないことがあります。その場合は相手に通話を切らうか、携帯電話側で操作してください。

リダイヤル機能について：

- 1台目の携帯電話のみリダイヤル機能が有効で、最後に発信した番号に電話をかけます。
- ご注意：携帯電話の機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
- マルチポイント機能が使えるのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。

イヤーチップの交換方法

本機には3種類(S, M, L)のイヤーチップが付属しています。好みに応じてフィットするサイズを選んでご使用ください。(工場出荷時はMサイズが装着されています)。



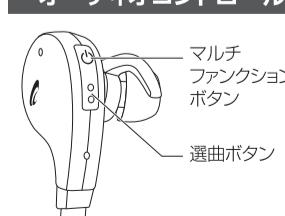
自動電源オフ機能について

以下の場合、本機は省電力のため自動で電源が切れます。

- ペアリング状態(LEDランプ：青⇒赤の速い交互点滅)が5分間続き、ペアリングがキャンセルされた後も1分間無操作状態が続いたとき

- 相手側機器で本機との接続を解除した後、無操作状態が6分間続いたとき

オーディオコントロール



ヒント

音量調節について：
本機には音量調節の機能がありませんので、接続機器側で調節してください。

ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生／一時停止	本機の電源を切る
選曲ボタン	次の曲を再生	聴いている曲の先頭に戻って再生 (開始2秒以内のときは、一つ前の曲に戻って再生)

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothワイヤレススポーツイヤホン			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	HP-W150N	品番	03-1021	保証期間：	本体1年間(お買い上げの日から)		
お客様	ふりがな ★お名前 様						
	★ご住所 〒 一 電話 ()						

販売店	★住所 店名 電話	印
-----	-----------	---

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

○OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話 受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます